

札幌支部活動報告

1. 活動方針

「研究主題の具現化を目指した研究推進と人材育成を 目指したチャレンジ授業の実施」 ～新学習指導要領の内容を踏まえて～

第53回北海道学校体育研究大会の成果と課題を踏まえ、平成30年度に新研究主題を設定した。昨年度までは、その具現化を目指し、「深める」を目的とした各ブロックでの授業づくりや冬季学習会を行うとともに、「育てる」を目的としたチャレンジ授業、「広める」を目的とした実技研修会や出前研修を行うことができていた。

しかし、コロナ禍という状況の中、上記の活動も制限をせざるを得ず、多くの人と関わりながらの取組は行うことができなかった。そこで今年度はチャレンジ授業に重点を置き、それぞれのグループのテーマをもとに実践を行い、研鑽を深めることとした。また、各授業で単元構造図を作成し授業を行うことで、授業の一般化を図るとともに単元構造図への理解を深められるようにした。

今後は今年度の取組をDVDとしてまとめ、次年度に控える全道大会への準備を行っていく。

2. 業務内容・分担

(1) 研究活動の推進

部長

- ・1年間の運営計画の作成と体研連との連携
- ・研究主題のプレゼン作成、事務局次長との折衝
- ・チャレンジ授業等の全ての業務のサポート（チャレンジ授業のグループ作成）

副部長（4名）小学校3名＋中学校1名

- ・事務局資料作成（副部長が輪番で行う）
- ・事務局会での報告（小学校副部長）
- ・チャレンジ授業のサポート（グループ運営補助）

※新たに発生した仕事については、部長と副部長で協力して行う。

部員 小学校10名＋中学校6名

- ・チャレンジ授業の運営

(2) 実技研修会（今年度中止）

(3) 冬季学習会（今年度中止の可能性有）

- ・実践発表や研究交流を会員に伝える。

(4) 出前研修（今年度中止）

(5) 研究部プロデュース授業公開（今年度中止）

(6) 北海道学校体育研究連盟との連携

- ・全道研究担当者研修会への出席を通して、各支部との交流、情報の収集に努める。

3. 活動について

○チャレンジ授業の取組

全国大会を見据え、若手の育成と全員が実践者になれるようにすることを目的とする。3～5名程度でグループを作る。各ブロックの中でグループを作成する。(1-4ブロック・5・6ブロック) グループは、研究部員・総務部・庶務部・その他の部・若手で構成する。

○チャレンジ授業の詳細

グループ構成 (3～5名)

- ①研究部員 (企画・運営・報告)
- ②総務部員 (派遣依頼等作成)
- ③庶務部員 (派遣依頼など送付)
- ④若手
- ⑤その他の部員

・グループ構成 (3～5名)
 ①研究部 (企画・運営・報告)
 ②総務部 (派遣依頼等作成)
 ③庶務部 (派遣依頼等送付)
 ④若手 + その他の部員

・活動例 (若手育成型)
 研究部指導案準備 (作成・既存)
 研究部以外で実践
 若手が追試
 若手が指導案作成→実践

・活動内容 ※各グループの把握は研究部長・副部長が行う
 ・グループごとに1年間のテーマを決めて授業づくりをする
 ・授業公開の仕方は各グループに任せる (本観・ビデオ・紙面交流等)
 ・授業者はグループ全員でもよいが、研究部員は運営を中心に
 ・活動的報告は、冬季学習会で行う
 ・初年度は4グループ作成する最終的に全員がグループに所属できるようにする

○活動内容

- ・グループごとに1年間のテーマを決めて授業づくりをする。
- ・授業公開の仕方はビデオ、紙面交流等とし、授業参観は行わない。
- ・メンバー同士、会議や授業づくりで集まらずにネット環境を活用して情報共有を図る。
- ・年間1人1～2実践行えるように計画性をもって取り組み、ビデオ交流や授業レポートにまとめるなどの工夫をしていく。冬季学習会が行えるかは決まっていないが、データ配信 (プレゼン動画等) の工夫を行うことで、全会員に伝えられるようにしておく。
- ・参加は希望性とする。今年度はグループ数が増加するとみられる。グループ間のデータ共有の工夫を図り、交流が生まれるようにする。
 ※各グループの把握は、研究部長・副部長が行う。

令和2年度



令和2年度 札幌市学校体育研究連盟 研究部

指導と評価の計画 (単元構造図)		第5学年 単元名 表現運動「激しい感じを表そう」指導と評価の計画				
単元の目標	知識及び技能 思考力、判断力、表現力等 学びに向かう力、人間性等	いろいろな題材からそれぞれの主な特徴を捉え、激しい感じを表現する動きとまじりの動きをして踊ることができるようにする。 自己やグループの課題の解決に向けて、激しい内容や発表の仕方を工夫するとともに、自己や仲間の特徴の考えを他者に伝えることができるようにする。 運動に積極的に取り組む。互いのよさを認め合い助け合ったり、場の安全に気を配ったりすることができるようにする。				主体的に学習に取り組む態度
単元の評価規準	知識・技能 ①表現の仕方について、言ったり書いたりしている。 ②激しい感じやイメージを表現する動きを「特徴」(顔や表情)のありと流れの動きにして、即興的に踊ることができる。 ③激しい感じやイメージを強調するように、変化を起すための「はじめるか」や「終わりの構成」を工夫して、仲間と感じを共有して踊ることができる。	思考・判断・表現 ①激しい感じやイメージが表れているか、踊りの特徴を捉えて踊っているか。グループの仲間や他のグループの動きを見て、自己やグループの課題を見つけている。 ②激しい感じを表すという課題に応じて、自分の動きや群の動きなどを実行する場面がある。 ③激しい感じやイメージにふさわしいようにするために考えたことを他者に伝えている。				
単元	1	2	3	4 (本時)	5	
目標	表現運動の学習の進め方について知るとともに、学習の見直しをすることができるようにする。	激しい感じやイメージを捉え、表現の動きを捉えて踊ることができるようにする。	激しい感じやイメージが表れているか、踊りの特徴を捉えて踊っているか。グループの仲間や他のグループの動きを見て、自己やグループの課題を見つけていることができる。	激しい感じやイメージが表れているか、踊りの特徴を捉えて踊っているか。グループの仲間や他のグループの動きを見て、自己やグループの課題を見つけていることができる。	激しい感じやイメージを表現する動きに積極的に取り組むことができるように、変化を起すための「はじめるか」や「終わりの構成」を工夫して、仲間と感じを共有して踊ることができるようにする。	
学習の進め方	①準備運動 「前傾体へんしん」 「なんでもダンス」 ②表現運動の学習の進め方や約束について知り、課題を把握する。 身近な生活や自然をみんなで作って遊ぶ。 【約束の場面】 ・ふざけない (楽しいとふざけは違う) ・笑わない ・冷やかさない ・はずかしくない ③イメージをみんなで作って表現する。 本時「サンバ」 「賑やかなダンス」 「賑やかなダンス」 「ダンスみたい」 本時「ハワイアン」 「賑やかなダンス」 「賑やかなダンス」 ④振り返り (学習カード) ⑤整理運動	①準備運動 ②本時の課題を把握する。 「大家だ！〇〇！」を、即興で踊ろう。 ③教師が提示したテーマを個々で即興的に踊る。 ・「サンバ」がはじけた！ ・「ハワイアン」がはじけた！ ・「ダンス」がはじけた！ ・「ダンス」がはじけた！ ④振り返り (学習カード) ⑤整理運動	①準備運動 ②本時の課題を把握する。 グループで「大家だ！〇〇！」を即興で踊る。 ③自分たちが決めたテーマを、グループで即興的に踊る。 ・「サンバ」がはじけた！ ・「ハワイアン」がはじけた！ ・「ダンス」がはじけた！ ④振り返り (学習カード) ⑤整理運動	①準備運動 ②本時の課題を把握する。 グループで「大家だ！〇〇！」を即興で踊る。 ③自分たちが決めたテーマを、グループで即興的に踊る。 ・「サンバ」がはじけた！ ・「ハワイアン」がはじけた！ ・「ダンス」がはじけた！ ④振り返り (学習カード) ⑤整理運動	①準備運動 「前傾体へんしん」 「なんでもダンス」 ②表現運動の学習の進め方や約束について知り、課題を把握する。 身近な生活や自然をみんなで作って遊ぶ。 【約束の場面】 ・ふざけない (楽しいとふざけは違う) ・笑わない ・冷やかさない ・はずかしくない ③イメージをみんなで作って表現する。 本時「サンバ」 「賑やかなダンス」 「賑やかなダンス」 「ダンスみたい」 本時「ハワイアン」 「賑やかなダンス」 「賑やかなダンス」 ④振り返り (学習カード) ⑤整理運動	
知		①観察				
意		①観察	①学習カード	①学習カード	①学習カード	①観察
態	①観察	①観察	①観察	①観察	①観察	①観察
情						
価値観		①観察	①観察	①観察	①観察	①観察

※チャレンジ授業の内容 (単元構造図・成果と課題) をまとめたPDFを作成した。

4. 成果と課題

- チャレンジ授業の体制により参加者が授業を行うことで、実践を深めることができた。
- チャレンジ授業を通して、単元構造図への理解を深めることができた。
- 集まって授業作りをすることができなかったため、研究主題を具現化する授業の姿を深めることが難しかった。